



2022年8月27日

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン  
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106  
アウディコミュニケーション センター

## アウディ、Formula 1 に参戦

- 2026年からFormula 1に参戦。モータースポーツ最高峰のパワーユニットを開発
- ハイブリッドパワーユニットは、ノイブルク アン デア ドナウのAudi Sport 拠点で開発
- 参戦決定に至る重要な要素は、持続可能性とコスト効率に焦点を当てた新しいレギュレーション
- Audi Sport の組織再編を成功に収めた、ユリウス シーバッハの後任にロルフ ミヒエル就任

(ドイツ本国発表資料) 2022年8月26日、ノイブルク アン デア ドナウ/スパ フランコルシャン：アウディはモータースポーツの最高峰クラスに参戦します。2026年から、アウディが専用に開発したパワーユニットとともに、FIA Formula 1 世界選手権に参戦します。このプロジェクトは、インゴルシュタット近郊のノイブルクにあるAudi Sport を拠点として行われます。Formula 1 用パワートレインが、ドイツ国内で製造されたことは、この10年以上ありません。

アウディは、スパ フランコルシャンで開催されたFormula 1 ベルギー グランプリの記者会見で、Formula 1 への参戦を発表しました。この記者会見では、AUDI AG 取締役会会長 マルクス ドゥスマン、技術開発担当取締役 オリバー ホフマンが、Formula 1 プレジデント兼 CEO ステファノ ドメニカリ、国際自動車連盟 (FIA) 会長 モハメド ビン スライエムとともに、報道陣の質問に答えました。

マルクス ドゥスマンは、次のように述べています。「モータースポーツは、アウディのDNAに組み込まれています。Formula 1 は、アウディブランドにとって世界的な舞台であると同時に、非常に過酷な開発実験室でもあります。ハイパフォーマンスなエンジンと高い戦闘力を備えたマシンの組み合わせは、いつの時代も自動車業界に革新的で高度なテクノロジーをもたらしてきました。新しいレギュレーションの発表により、アウディはFormula 1 に参戦する絶好の機会が到来したと判断しました。Formula 1 とアウディは、どちらも明確な持続可能な目標を追求しています」

参戦を決定した重要なポイントは、世界で最も人気が高いレースシリーズに、より持続可能でコスト効率の高い明確な計画が策定されたことです。2026年から適用される新しい技術規則(テクニカルレギュレーション)は、より高度な電動化と先進的で持続可能な燃料に焦点を当てています。チームに適用されている既存のコスト上限に加えて、2023年には、パワーユニットメーカーにもコスト上限が設定されます。さらにFormula 1 は、2030年までにカーボンニュートラルなレーシングシリーズになるという野心的な目標を掲げています。

### Formula 1 の変革を積極的に推進

技術開発担当取締役 オリバー ホフマンは、次のように述べています。「Formula 1 は、持続可能性を念頭において、2026年にレギュレーションが大幅に改定されます。そのため、私たちはこの新しいFormula 1 に参戦することを決定しました。Formula 1 は変革を遂げており、アウディはこの変革を積極的にサポートしたいと考えています。私たちのFormula 1 プロジェクトとAUDI AGの技術開発部門が緊密に連携することにより、相乗効果が発揮されるでしょう」

2026年以降、電気モーター、バッテリー、電子制御システム、内燃エンジンから構成される電動パワーユニットの出力は、現在のFormula 1の駆動システムと比較して大幅に増強されます。電気モーターは、約400kW(544hp)の出力を備えた内燃エンジンと同等のパワーを発生します。非常に効率的な

1.6 リッター ターボエンジンは、先進的で持続可能な燃料で作動します。これは、アウディがシリーズに参戦するための前提条件でもあります。

### 主要なマーケットおよび若いターゲットグループで高い人気

Formula 1 に参戦するためのアウディの必須要件とは、世界的に認められていること、エモーショナルであること、そして先進的なテクノロジーを搭載していることです。Formula 1 シリーズは、アウディブランドが事業展開している、すべての主要マーケットでレースを開催しています。マシンは、世界でもっとも要求の厳しい電動レーシングカーのプラットフォームとして、自動車メーカー各社が注目しています。アウディは、この競争の激しい環境で Vorsprung durch Technik (技術による先進) を証明するという課題に取り組みます。

Formula 1 は、世界的に大きな関心を集めており、世界で最も知られたスポーツイベントの1つです。2021年には、15億人以上がレースをテレビで観戦しました。Formula 1 は、中国や米国など主要なマーケットで人気があり、その傾向は若いターゲットグループでも高まり続けています。ソーシャルメディアにおいて、Formula 1 は現在世界的な人気を誇るスポーツの中で、もっとも高い成長率を記録しています。

### パワーユニットはノイブルクで開発

パワーユニットは、インゴルシュタットにある AUDI AG 本社から近い、ノイブルク アン デア ドナウにある、Audi Sport が誇る最先端の Competence Center Motorsport (コンペティンス センター モーター スポーツ) で製造されます。アウディのモータースポーツ再編の一環として、Formula 1 への参戦を主導した Audi Sport マネージングディレクター兼アウディ モータースポーツ部門責任者のユリウス シーバッハは、次のように述べています。「私たちは、Formula 1 用のパワートレインを開発・製造するために、モータースポーツ部門の貴重なノウハウを活用し、Competence Center Motorsport への投資を継続し、高度な専門知識を備えたプロフェッショナルを採用します」

ノイブルクには、F1 エンジン用テストベンチだけでなく、電気モーターとバッテリー用のテストベンチも既に設置されています。現在、スタッフ、施設、技術インフラの面で必要な準備作業が行われており、年末までにすべての準備が整う予定です。また、Audi Sport 100%子会社である、パワーユニット プロジェクトの別会社が設立されました。この会社の最高経営責任者 (CEO) には、アダム ベイカーが就任し、Formula 1 プロジェクトの責任者となります。経験豊富なエンジニアであるベイカーは、自動車メーカーやモータースポーツチームで、さまざまな要職を歴任してきました。2021年、アウディ入社前は、FIA に3年間勤務していました。

アウディは年末までに、どのチームと提携して2026年からFormula 1に参戦するのかを発表予定です。

### Formula 1 にモータースポーツの焦点を定める

Audi Sport は、Formula 1 プロジェクトにリソースを集中するため、LMDh (ルマン デイトナ h) プロジェクトの中止を決定しました。また、モータースポーツ部門は、耐久レース用のスポーツカーの開発も中断しました。但し Audi Sport は、カスタマーレーシングおよびダカールラリーに参戦するための革新的な RS Q e-tron プロジェクトは、これまで通り継続します。アウディのダカールラリーにおける来年の目標は総合優勝です。

これまで Audi Sport は、世界ラリー選手権、世界スポーツカー選手権、米国のモータースポーツ、DTM、ルマン 24 時間レース、Formula E などで、数多くのタイトルを獲得して、レースの世界における新たな基準を設定してきました。ユリウス シーバッハは、次のようにコメントしています。「Formula 1 は、アウディ モータースポーツの歴史における、次の大きなマイルストーンです」

## ユリウス シーバッハの後任にロルフ ミヒエルが就任

アウディの Formula 1 への参戦は、モータースポーツ部門の構築完結を意味するだけでなく、Audi Sport GmbH の新しい組織の構築が完了したことも意味しています。2022 年 9 月 1 日付でマネージングディレクター ユリウス シーバッハは、AUDI AG に異動して、取締役会直属で、技術開発部門の新しい戦略的事業分野を担当します。

技術開発担当取締役であり、Audi Sport GmbH 監査役会会長を兼任するオリバー ホフマンは、シーバッハのこれまでの業績貢献に感謝の意を表明しています。「ユリウス シーバッハは、困難な時代において戦略的先見性を持ち、一貫した行動を取り、持続可能な結果をもたらしてくれました」。シーバッハのリーダーシップの下、Audi Sport GmbH は、記録的な売上と利益目標を繰り返し達成してきました。RS モデルの攻勢で売上が倍増し、電動4ドアグランツーリスモ RS e-tron GT を成功裏に市場に導入しました。

2020 年、シーバッハはアウディ モータースポーツ部門の責任者に就任。強い決意で、未来に向けての準備を整えました。シーバッハのリーダーシップにより、アウディ史上でもっとも高度なテクノロジーを備えたレーシングカー、ダカールラリー参戦用の RS Q e-tron が、記録的な速さで開発されました。RS Q e-tron は、今年 1 月に開催されたダカールラリーで、4 回のステージ優勝を達成して、デビュー戦を飾った後、3 月に行われたアブダビ デザート チャレンジでは、初の総合優勝を成し遂げました。また、今回の Formula 1 への参戦は、シーバッハの仕事の集大成でもあります。

シーバッハの後任には、9 月 1 日付けでロルフ ミヒエルが就任します。ミヒエルは、今年の 2 月から Audi Sport レーシング部門の最高執行責任者 (COO) を務めてきました。彼は、Dr. セバスチャン グラムズとともに、Audi Sport GmbH の取締役会を構成します。ミヒエルは経営学学位を取得後、長年にわたって Audi Sport に在籍しています。また、AUDI AG および Audi Sport で、マーケティングのさまざまな要職歴任後、2016 年に RS モデル プロダクトマーケティング責任者に就任。ピークル カスタマイゼーション ディレクターとして Abt Sportsline (アプト スポーツライン) に異動した後、2019 年に Audi Sport GmbH セールス/マーケティング責任者に任命されました。ミヒエルは、製品ポートフォリオの構築および記録的な売上高の達成において重要な役割を果たしてきました。ホフマンは、次のように述べています。「ロルフ ミヒエルは真のリーダーであり、モータースポーツおよびシリーズ生産における貴重な経験をもたらしてくれるでしょう」。ミヒエルは、マーケティングの要職のほか、2014 年には、Audi Sport TT Cup の立案および実行責任者として手腕を発揮しました。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。